

**ガラナ**(guarana、学名: *Paullinia cupana*) は、ムクロジ科ガラナ属のつる植物。原産地アマゾン川流域  
果実は小さく丸く、房状に生る。果皮は赤く、熟すると実が弾け、黒い種子が現れる。  
種子にはガラニン(カフェインやタンニン)が豊富に含まれており、アルコール抽出したエキスは  
疲労回復や興奮剤、強壮剤として用いられる。

偏頭痛、あるいは嘔吐性頭痛にガラナが最良の治療法。

偏頭痛にはさまざまな型があるが最もよく知られているのは片側頭痛、視覚消失性頭痛、胆汁  
異常性頭痛のタイプがあり、男性より女性のほうが多く訴える。時々、複視(二重に見えること)  
の発作を伴ったり、往々にして、神経痛とも関連があり、これは栄養不良、やる気が起こらない、  
便秘であることがしばしば見受けられる。

強壮剤、興奮剤、痴呆症(認知症)、催淫剤、解熱剂的な効能効果

ガラナに含まれているガラニンは下痢に対して穏やかな作用を示し、欧米では主に頭痛に  
役立っています。 穏やかな興奮剤で精神的にいらいらしたり、おちこんだりした脳や、  
疲れや、暑さによる疲労にも効きます。

効能は神経性の頭痛、月経に伴う苦痛、憂鬱を伴って生じる疲労、などにも効果を発揮する。

日本臨床精神薬理学会(2007年10月大阪)で認知症にも有用であると報告された。

また、脂肪燃焼効果に伴う、ダイエット効果も発揮する。

## カツアーバ

[学名: *Anemopaegma arvense* (vell.) Stelfeld.] [伯名: Catuaba, Catuaba-Verdadeira, C.do-Campo, Tatuaba]

のうぜんかずら科、アネモパエグマ属で、ブラジル中部のサバンナ特有のコカノキ科の低木です。

葉、枝、幹にはアルカロイドを含み、性欲亢進剤として、広く知られています。

根茎と樹皮を使用し、煎じ薬、シロップ、粉末、チンキ剤などが市販されています。

実験によりカツアーバには血圧循環改善(血管拡張作用、血管弛緩作用)があることが確認されている。

カツアーバに含まれるカツアビンA、B、Cと呼ばれる3種類のアルカロイドグループが神経系を刺激し、  
性機能を強化すると考えられています。

## 効能効果

神経系を刺激、興奮させる作用は即効性があり、神経症、神経衰弱、

ノイローゼ、心気症、不眠症、健忘症などに用いられます。

製本能エネルギーを上昇させる。催淫作用も強く、精力の減退、インポテンツ、生殖器の機能低下など。

また、消化器、循環器、呼吸器などの疾患にも使用します。

中枢神経刺激作用があると考えられ、ED、神経衰弱、記憶力の低下、疲労、不眠症等に用いられてきました。



1号ハードカプセル

|      |                  |
|------|------------------|
| 品名   | 南米アマゾンパワー<br>ガラナ |
| 原材料名 | ガラナ、カツアーバ        |
| 原産地  | ブラジル             |
| 内容量  | 330mg。270粒       |
| 日本製  |                  |



ガラナの実



※赤いところは果肉で黒く目の様にのぞいているものが実(左写真)です。  
医食同源研究会編

**【効能効果】** 下記のガラナ、カツアーバの効能効果に準ずるが、特に、以下のような方にお奨めです  
 疲れ気味の方 慢性疲労症候群  
 受験勉強  
 物忘れのひどい方  
 痴呆症の方(寝たきりも含む)

**【最新の学術学会報告】**

ガラナ配合食品は痴呆症(認知症)患者に伴う症状改善に有意に有用であると小坂、中西等は報告した。  
 (日本臨床精神薬理学会2007年10月4日大阪)